

その日、村娘は
オークの肉壺になった。

立ち絵含む
基本CG数

15 枚

セリフ差分大量収録！
ストーリー全編

100

ページ

v2.0 バージョンアップ! イラストブラッシュアップ!

異種姦・アナル・脱糞・ボテ腹

CGノベル

ある日、婚約の決まっていた村娘が
オークに捕らえられた。
目を覚ました村娘の前には
オークたちのデカマラが
異臭を放ち反り返っていた。

オークの臭い、オークのち○ぽ、
オークのチンカス、
イラマチオ、アナル、孕ませ、
ニプルファック、飲尿、脱糞、
変態プレイの数々…
そして、村娘は堕ちていく…。





オークの容赦のない
恥辱責めを受け……

村娘の穴という穴は
ちのぽ穴へ変貌していく

排泄管理による公開脱糞
人体改造されニプルファック

ボテ腹で輪姦！
あらゆる恥辱に村娘は……。



そして…最深部に着くと、

そこにはさつきよりも多いオークが
食事をとったり、昼寝をしたりしていた。

「おい、お前ら。」

新鮮な人間の女を見つけたぞ。

ぶひいひい…今日は宴だ」

「う…宴…?」

「うぐおおおおお！
女あああだあああ！」

「ぐわあはっはっ
うまそうだぜええ！」

「びい…！」

部屋の中にオークたちの雄叫びが響く。
村娘はさすがにもう限界だった。
恐怖から気を失ってしまう。

「あああああぐぐう…
おまんこ壊れるううううー！」

「せらせらせらせらびびらー！
だいぶ解れてきたびびよおー！」

「はあはあ…んんあ…
だめ…もう止めて…
おまんこビロビロする…」

そんなことを言っても無駄なのだ。

オークは村娘を無視してさらに腰を激しく振った。

「んんぐ…れるれる…つぢゅ…
ぢゅる…んんあ…はあ…」

「ぶひひひ…」

「いぞ〜いぞ〜まいか〜」

「はい…」

（だめ…吐きそう…）

「い
い
い」

「んん
んん
んん」

「んん
んん
んん」

「んん
んん
んん」

「おいおい…ぜんぜん
チンカス食べてないぞ？
もっとガッツリいけぶひ！」

すると…二匹のオークが
村娘の回めがけ
おしっこをし始めた。

「おらおすぞ」

ク
ク

「どぼぼ……！」
(苦い…臭い…
汚い…よお…)

ク
ク
ク



ク
ク

「がはは…物足りないだろ？」
もつと吐いてやるぶひらー！」

「ぶぐぐららー!?」

ぷーぶぶぶぶぶぶ…と村娘のケツ穴から
オナラが放出された。

鼻が曲がりそうな匂いだ。

ドク

ズ

「おなら…出ちやう…」

もう…いやあ…」

「くんくん…うわっ!
クっさいぶひ笑」

「人間もこんな臭い屁を出すぶひね、
おい、はやくりんごを出さぶひー」

んん

んん

